

令和3年9月22日

品川区長
濱野 健 様

品川区議会公明党
幹事長 若林 ひろき

デジタル化促進に関する高齢者等支援の緊急要望

国ではデジタル庁が9月1日に発足し、品川区においてもマイナンバーの活用や行政手続きの簡素化など、デジタル技術の活用で行政サービスの向上を図る新たな時代に入っています。

一方、ワクチン接種予約サイトを利用できない高齢者が多くみられたように、デジタル化に対応することが困難な人も多く存在するなど、コロナ禍、デジタル化促進に向けた様々な課題が浮き彫りになりました。

公明党は、デジタル化の促進にあっては、特に「スマホ難民」と呼ばれるデジタル機器に不慣れな方等への配慮を行い、デジタルデバインド（情報格差）を生まない取り組みが欠かせないと考えています。

そこで、誰もがデジタル化の恩恵を最大限に受けられる環境の整備が急務であることから、以下のように要望します。

記

- 一、 高齢者・障がい者などデジタル機器に不慣れな方や機器を所持していない方向けのスマートフォン教室を、区内全域で継続的に開催すること。また、開催を区民に周知すること。
- 二、 スマートフォン教室の開催には、東京都「デジタルデバインドの是正に向けた高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業」を活用すること。
- 三、 スマートフォンやタブレットの操作方法を高齢者等が気軽に相談できる窓口を、区役所・シルバーセンター・ゆうゆうプラザ等に設置すること。
- 四、 希望する高齢者や障がい者へスマートフォンやタブレットの無償貸与や、購入費・通信費等の助成を行うこと。

以上